

(案)

第4次国有林野施業実施計画書

(水戸那珂森林計画区)

計画期間 自 平成22年4月 1日
至 平成27年3月31日

関東森林管理局

目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積 又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごと の更新方法及び更新量	1
(1) 伐採造林計画簿	1
(2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等	1
(3) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積	2
(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等	3
(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量	3
(6) 伐採総量	4
(7) 更新総量	5
(8) 保育総量	5
3 林道の整備に関する事項	6
4 治山に関する事項	7
5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	8
(1) 保護林の名称及び区域	8
(2) 緑の回廊の名称及び区域	8
6 レクリエーションの森の名称及び区域	9
7 その他必要な事項	10
(1) 施業指標林、試験地等	10
(2) フィールドの提供	11
(3) その他	12

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等

（単位：面積ha、伐期齢 年）

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ 長伐期	111.57	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
スギ 分散伐区	207.32	〃	45
ヒノキ 長伐期	1,695.67	〃	90
ヒノキ 分散伐区	718.17	〃	55
ヒノキ枝打分散伐区	493.00	〃	55
アカマツ 長伐期	136.52	〃	80
アカマツ 分散伐区	—	—	—
カラマツ 長伐期	—	—	—
カラマツ 分散伐区	—	—	—
スギ 複層林	37.93		45～90
ヒノキ 複層林	148.96		55～110
その他 複層林	—	—	—
天然生アカマツ分散伐区	—	—	—
ぼう芽 分散伐区	77.27	伐採面積の縮小、モザイク的配置	25
天然林漸伐分散伐区	—	—	—
ブナ漸伐 分散伐区	—	—	—
択伐	460.71		回帰年は定めない
その他	228.93		定めない
施業群設定外	—	—	—
合計	3,716.05		

(注) 択伐施業群の伐採は標準伐期齢以上とし、水源かん養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

(3) 水土保全林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	上限伐採面積	摘要
スギ長伐期	7	
スギ分散伐区	23	
ヒノキ長伐期	94	
ヒノキ分散伐区	65	
ヒノキ枝打分散伐区	45	
アカマツ長伐期	9	
アカマツ分散伐区	—	
カラマツ長伐期	—	
カラマツ分散伐区	—	
スギ複層林	4	
ヒノキ複層林	14	
その他複層林	—	
天然生アカマツ分散伐区	—	
ぼう芽分散伐区	15	
天然林漸伐分散伐区	—	
ブナ漸伐分散伐区	—	
択伐	46	
その他	定めない	
施業群設定外	—	
合計	276	

(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等

(単位：面積ha、伐期齢年)

生産群	面積	生産目標等	伐期齢又は回帰年
スギ大径材	—	—	—
スギ中径材	117.71	一般建築材(22cm)	45
ヒノキ大径材	—	—	—
ヒノキ中径材	373.49	一般建築材(22cm)	55
ヒノキ無節柱材	137.82	正角無節柱材(18cm)	55
アカマツ大径材	—	—	—
アカマツ中径材	—	—	—
カラマツ大径材	—	—	—
カラマツ中径材	—	—	—
スギ複層林	—	—	—
ヒノキ複層林	5.00	造作材・一般建築材(22~28cm)	55~110
その他複層林	—	—	—
天然生アカマツ中径材	—	—	—
ぼう芽	65.93	しいたけ原木(8~12cm)	25
天然林漸伐	—	—	—
ブナ漸伐	—	—	—
択伐	28.42	定めない	回帰年は定めない
その他	6.48	定めない(保護樹帯等)	定めない
生産群設定外	—	—	—
合計	734.85		

(注) 1. 「生産目標等」の数値は、生産目標とする胸高直径である。

2. 択伐生産群の伐採は標準伐期齢以上とし、隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量

当該森林計画区の「資源の循環利用林」は分収林が大部分であり、標準伐採量は定めないこととする。

(6) 伐採総量

(単位：面積ha、材積)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計			
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	—	—	—	4,300	77,447		77,447	
	水	スギ長伐期	—	5,388					5,388
		スギ分散伐区	—	8,239					8,239
	源	ヒノキ長伐期	—	24,303					24,303
		ヒノキ分散伐区	—	11,272					11,272
	か	ヒノキ枝打分散伐区	—	8,334					8,334
		アカマツ長伐期	—	1,913					1,913
	ん	スギ複層林	—	2,381					2,381
		ヒノキ複層林	—	4,570					4,570
	養	択 伐	214	124					338
		そ の 他	—	2,825					2,825
	イ	小 計	214	67,261					67,475
		計	214	67,261 (829.35)					67,475
と森 の林 共と 生人 林	自然維持タイプ	—	441 (4.65)	441					
	森林空間利用 タイプ	—	5,231 (61.45)	5,231					
	計	—	5,672 (66.10)	5,672					
循資 環源 利の 用 林	スギ中径材	7,518	2,599	10,117	1,100	22,698	—	22,698	
	ヒノキ中径材	2,303	4,074	6,381					
	ヒノキ無節柱材	480	4,305	4,785					
	ヒノキ複層材	—	315	315					
	ぼう 芽	—	—	—					
	択 伐	—	—	—					
	そ の 他	—	—	—					
計	10,305	11,293 (129.68)	21,598						
合 計	10,519	84,226 (1,025.13)	94,745	5,400	100,145	—	100,145		
年 平 均	2,104	16,845 (205.02)	18,949	1,077	20,026	—	20,026		

(注) () は、間伐面積である。

(7) 更新総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	1.81	1.81	—	0.30	0.30	18.62	20.73
	複 層 林 造 成	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	1.81	1.81	—	0.30	0.30	18.62	20.73
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	0.63	0.63	—	—	—	1.65	2.28
	ぼ う 芽	—	—	—	—	—	—	1.54	1.54
	計	—	0.63	0.63	—	—	—	3.19	3.82
合 計		—	2.44	2.44	—	0.30	0.30	21.81	24.55

(8) 保育総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
保 育	下 刈	—	62.38	62.38	—	1.35	1.35	55.86	119.59
	つる切	—	37.40	37.40	—	3.85	3.85	0.45	41.70
	除 伐	—	85.41	85.41	—	7.67	7.67	5.00	98.08

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	道木橋第2林道	271	2,000	
	小計	1路線		2,000	
基幹	改良	古内(赤沢)林道	31~33	25	
		古内(高取)林道	22、23	40	
		古内(古内2)林道	12、13	20	
	小計	3路線		85	
その他	改良	鳥居松林道	235	40	
		南山内林道	233、234	25	
		清音寺林道	15	25	
		影沼林道	269、271	20	
		高取林道	273	30	
		高取支線林道	24	20	
		横山沢林道	268、270	40	
		道木橋支線林道	271	45	
		赤沢支線林道	31	20	
	御前山林道	28~30	30		
小計	10路線		295		
合計	開設	1路線		2,000	
	改良	13路線		380	

4 治山に関する事項

位 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
1～3、7、9、10、12、13、15、18-1、22～27、 31～33、38、232、235、236、242、245～248、 250、255～262、266～270、272	保安林の整備	そ の 他	470ha
29	保 安 施 設	溪 間 工	2箇所
31		山 腹 工	
合 計	保安林の整備		470ha
	保 安 施 設	溪間工・山腹工	2箇所

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

当計画区には、動植物の保護、遺伝資源の保存等を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定し、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護、保存を図っていくこととする。

種 類	名 称	新既 設別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
植物群落 保護林	成 沢 暖温帯性	既設	2.32	1 号	成沢鉱泉の源泉地にある カシ、スダジイ等を主体と する暖温帯性の天然林。 健全な状態で維持されて いることから、引き続き現 状が維持できるよう管理す ることとする。
植物群落保護林計			2.32		
特定動物 生息地 保護林	片庭姫春蟬	既設	0.30	242 号	国の天然記念物に指定さ れているヒメハルゼミの生 息地に隣接している。 生息に影響を及ぼさない よう適正な維持・管理、保 存に努めることとする。
特定動物生息地保護林計			0.30		
保 護 林 合 計			2.62		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	新既 設別	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
森林 スポ ーツ 林	北 山	既設	60.90	<p>計画区中央部笠間市近郊に位置し、人工湖周辺のキャンプ施設である。 このため、利用者の安全に配慮し巡視の強化に努めることとする。</p>	254 ろ1、と、わ3、 た1、ね、む	育成複層林 施業
					254 ろ2～へ、ち、 り、ぬ、る、わ、よ、 た～つ、な、ら、う ～お2	天然生林施 業
					254 イ、ハ～ホ、ト、 チ、ヨ、タ、レ2～ レ4、レ6～レ15	林地以外
森林スポーツ林計			60.90			
風景 林	太 古 山		5.26	<p>清音寺境内に隣接し、スギ、ヒノキ、天然広葉樹が混成した自然景観を呈している。 このことから、自然環境の維持・保全のための巡視に努めることとする。</p>	15 ろ、ぬ	育成複層林 施業
					15 へ	天然生林施 業
	御 前 山		202.65	<p>計画区最北部に位置し、御前山と那珂川の調和した景観を呈している。 このことから、自然環境の維持・保全のための巡視に努めることとする。</p>	29 ろ1～り、る、わ 30 ろ、に～ほ4	育成複層林 施業
				29 ぬ、か～た 30 い、は	天然生林施 業	
				29 イ 30 ハ、ニ	林地以外	
風 景 林 計			207.91			
合 計			268.81			

7 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業 指標林	間伐施業指標林	H10	24.69	269 ろ ₁	間伐技術の定着及び普及 並びに充実を図る。
			11.52	269 ろ ₂	
			0.20	269 ろ ₃	
			14.09	269 は	
	人工林施業指標林	H12	0.30	25 う	超長伐期施業の確立を図る
施業指標林計			50.80		
試験地	育種効果の実験証明	H11	3.91	23 の ₁	
	スギの木材性質に着目した植栽密度試験	H11			公募課題
	スギ・ヒノキの植栽密度試験	H11			自主課題
	ケヤキ遺伝子の保存と特性評価試験地	H18	1.25	255 た ₁	公募課題
	針葉樹一斉造林における路網整備と広葉樹導入手法・育成試験地	H 8	20.44	258 ろ ₂	
	針葉樹一斉造林における路網整備と広葉樹導入手法技術の開発	H10	0.55	258 イ	
	連結装軌式車両による走行及び育林作業試験	H 8	3.00	268 に ₂	
	ツリーシェルターを利用した育林技術の開発	H 8	1.18	268 に ₁	

種 類	名 称	設定年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
	ケヤキ遺伝子の保存と特性評価試験地	H 8	4.67	273 に ₁	
試 験 地 計			36.50		
展 示 林	内 山 ス ギ	H 3	0.35	28 ち	地域を代表するスギ美林
	御 前 山 ケ ヤ キ	H 3	1.65	30 ろ	明治16年頃植栽した高齢ケヤキ人工林
	クローンによるスギ・ヒノキ品種見本林	H 8	4.92	256 ほ ₉	遺伝資源保存、林業知識・技術の普及・啓発
展 示 林 計			6.92		
検 定 林	遺 伝 試 験 林	S56	5.53	5 は ₁	
	〃	S54	3.18	5 は ₂	
	〃	S54	11.27	6 い	
	〃	S61	0.56	31 れ	(関東試55号)
	〃	H 6	0.31	260 ろ ₇	(関東試62号)
	試 植 検 定 林	S36	1.27	251 き	
	〃	S36	1.00	261 と ₂	
	〃	S53	0.57	273 い ₄	(関東試3号)
	〃	S53	0.74	273 い ₅	(関東試4、5号)
	育 種 集 団 林	H17	0.99	269 い ₅	(関東67号)
次 代 検 定 林 計			25.42		
合 計			68.84		

(2) フィールドの提供
該当なし

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施 業 方 法
252り		育成単層林施業
1い、は、に、へ〜と ₂ 2は、ほ ₁ 〜と、り、か〜ね、ら、う ₁ 〜や、け〜ふ ₂ 、 3い〜は ₂ 、ほ、へ 4い、は 5い、に〜へ 6は ₁ 〜は ₄ 7い、ろ、と、ち、ぬ、わ、よ 9ろ、ほ、へ、ち 15ほ、と、り、る ₁ 〜わ 28は ₁ 〜に、へ、と、り〜わ、よ〜れ 29い ₁ 〜い ₄ 31ぬ 237は ₁ 、は ₂ 、に ₁ 〜ほ、へ ₃ 、へ ₅ 246る ₁ 251た〜ね、ら〜う、の、お、く〜こ、て〜さ、め〜し、ひ〜 す ₄ 252り、か ₁ 、か ₂ 、そ 253い ₁ 、ろ ₁ 、は、ほ ₁ 、へ、わ、た〜れ ₂ 254い 260へ 261に、ほ		育成複層林施業
1ろ 2ろ、ち、ぬ〜わ、な、む ₁ 〜む ₅ 、ま 3に 4ろ、に〜り 5ろ 7は〜へ、り、る 9い、は、と、り、ぬ 15に、ち 28ろ、ほ、か、そ 237ろ、は 246か、よ、た 251な、え、ゆ 252ろ、る、わ、よ、れ 253い ₂ 、い ₃ 、ろ、に、ほ、と〜る、よ		天然生林施業
6イ 9イ 15イ 30イ、ロ 251ニ 253イ〜ロ ₃ 254ロ、レ ₁		林地以外
計	488.25	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。